

平成28年度 再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金

利用状況報告等の手引き

平成31年2月

熱利用設備



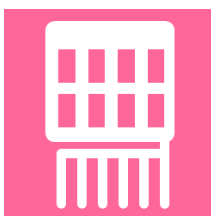
太陽熱利用



温度差エネルギー利用



雪氷熱利用



地中熱利用

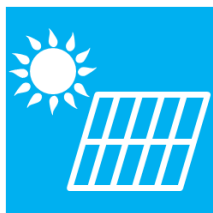


バイオマス熱利用



バイオマス燃料製造

発電設備



太陽光発電



風力発電



バイオマス発電



水力発電



地熱発電

1-1. 利用状況報告の作成(熱利用設備)	・・・P.2
利用状況報告書(バイオマス燃料製造を除く)	・・・P.3
利用状況報告書(バイオマス燃料製造のみ)	・・・P.5
バイオマス依存率計算書(バイオマス熱利用)	・・・P.7
バイオマス依存率計算書(バイオマス燃料製造)	・・・P.8
設備の稼働状況等に関する計測データ	・・・P.9
使用する燃料のバイオマス依存率の計算根拠がわかる資料	・・・P.10
使用する原料のバイオマス依存率の計算根拠がわかる資料	・・・P.11
製造した燃料が要件を満たしていることがわかる資料	・・・P.12
改善計画書	・・・P.13
1-2. 利用状況報告の作成(発電設備)	・・・P.16
利用状況報告書	・・・P.17
バイオマス依存率計算書(バイオマス発電)	・・・P.19
1-3. 利用状況報告の提出	・・・P.20
利用状況報告の提出について	・・・P.21
2. 普及啓発事業の報告の作成	・・・P.22
普及啓発事業の報告	・・・P.23
普及啓発事業の報告(添付書類例)	・・・P.24
3. 各種変更に係る手続き	・・・P.26
計画変更承認申請書	・・・P.27
計画変更届出書	・・・P.29
財産処分承認申請書	・・・P.31
軽微な変更の報告書	・・・P.33

※本資料に係る書式ファイル等は、すべて下記ホームページからダウンロードできます。

http://sii.or.jp/re_energy28/report.html

1－1.利用状況報告の作成 (熱利用設備)

補助事業者は、補助事業の適正な管理のため、取得財産等(補助事業により設置した再生可能エネルギー利用設備)の利用状況等の報告を行っていただきます(書式は、ホームページ上からダウンロードできます)。

利用状況報告のデータの収集期間は、補助事業実施年度の次年度から48カ月間(4年間)とし、前年度の4月～3月の実績を、次年度の4月末までにSIIに報告をしてください(提出書類は下記表を参照)。

例)平成28年度(平成28年4月～平成29年3月)に補助事業を完了している場合

【第一回報告】平成30年4月末(平成29年4月～平成30年3月分)

【第二回報告】平成31年4月末(平成30年4月～平成31年3月分)

【第三回報告】平成32年4月末(平成31年4月～平成32年3月分)

【第四回報告】平成33年4月末(平成32年4月～平成33年3月分)

※ただし、個別の状況により変更する場合があります。

提出書類名	書式							備考
利用状況報告書	Excel書式	●	●	●	●	●	●	
バイオマス依存率計算書	Excel書式	—	—	—	—	●	●	
設備の稼働状況等に関する計測データ	CSV形式 PDF形式	●	●	●	●	●	●	
使用する燃料のバイオマス依存率の計算根拠がわかる資料	自由書式	—	—	—	—	●	—	
使用する原料のバイオマス依存率の計算根拠がわかる資料	自由書式	—	—	—	—	—	●	
製造した燃料が要件を満たしていることがわかる資料	自由書式	—	—	—	—	—	●	設備の稼働状況等に関する計測データにて確認できる場合は省略可
改善計画書	Excel書式	△	△	△	△	△	△	達成率が50%未満の場合に提出

太陽熱
利用温度差エネルギー
利用雪氷熱
利用地中熱
利用バイオマス熱
利用バイオマス
燃料製造

1	補助事業の情報を記入してください。 ※複数年度にわたって事業を行った場合は、交付年度には事業完了した年度を記入してください。 ※担当者の氏名、所属部署、電話番号について、2年目以降の報告から変更がある場合は、変更後の内容を記入してください。
2	熱利用の用途(給湯、空調、融雪)を記入してください。 ※給湯、空調、融雪以外の場合は、用途をそのまま記入してください。(例:生産設備用蒸気)
3	補助事業の実績報告時の 実績報告書【No. 1 4 補助事業の効果】 に記載した数値を記入してください。
4	再エネ設備で供給した熱量の実績を記入してください。
5	補助対象の再エネ設備以外の熱利用設備があれば、その供給した熱量の実績を記入してください。 なお再エネ設備以外の熱利用設備の熱量実績は、下記をいずれかの値を記入してください。 ・熱量計等の計測値 ・設備の燃料消費量または消費電力量を熱量換算した値 ・対象施設等で使用した熱量※の値から ④ を差し引いた値 ※ ③ を基に、実際の使用状況を踏まえて計算してください。
6	対象施設等で使用した熱量の実績を記入してください。
7	バイオマス依存率の実績値を記入してください。(バイオマス熱利用の場合のみ)
8	熱利用の用途が2種類以上ある場合は、用途ごとに表を作成してください。 ※用途が3種類ある場合はExcelシートの行を適宜追加してください。
9	運転状況について具体的に記入してください。 計画値と実績値の乖離が大きいときは、その理由も記入してください。

報告対象となる当該年度の部分に記入をしてください。

提出書類【設備の稼働状況等に関する計測データ】及び
【バイオマス依存率計算書（バイオマス熱利用の場合）】と整合性をとってください。



1	補助事業の情報を記入してください。 ※複数年度にわたって事業を行った場合は、交付年度には事業完了した年度を記入してください。 ※担当者の氏名、所属部署、電話番号について、2年目以降の報告から変更がある場合は、変更後の内容を記入してください。
2	製造するバイオマス燃料の単位をリストから選択してください。
3	補助事業の実績報告時の 実績報告書【No. 1 4 補助事業の効果】 に記載した数値を記入してください。
4	設備で製造したバイオマス燃料の製造実績を記入してください。
5	バイオマス依存率と低位発熱量の実績値を記入してください。
6	実際の利用者を記入してください。
7	実績値を記入してください。 実績値は自社使用量、又は出荷先と出荷量を記入してください。 在庫がある場合は、在庫量を記入してください。
8	運転状況について具体的に記入してください。 計画値と実績値の乖離が大きいときは、その理由も記入してください。

報告対象となる当該年度の部分に記入をしてください。

提出書類【設備の稼働状況等に関する計測データ】及び【バイオマス依存率計算書】と
整合性をとってください。



太陽熱
利用



温度差エネルギー
利用



雪氷熱
利用



地中熱
利用



バイオマス熱
利用



バイオマス
燃料製造

バイオマス依存率計算書 (バイオマス熱利用)

バイオマス由来	種類		構成比	A. バイオマス (燃料)利用量	B. バイオマス (燃料)低位発熱量	バイオマス (燃料)発熱量
			%	kg/h	MJ/kg	MJ/h
	紙くず	紙類	0	0	0	0
新聞紙		0	0	0	0	
紙管		0	0	0	0	
木くず	草・木	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
	おがくず	0	0	0	0	
	木片	0	0	0	0	
	ベニア・合板・化粧板	0	0	0	0	
	集成材・ボード	0	0	0	0	
繊維くず	木綿	0	0	0	0	
	羊毛	0	0	0	0	
その他	一般雑芥	0	0	0	0	
	廃油(動植物系)	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
						① 〇〇

	種類		構成比	C. 非バイオマス (燃料)利用量	D. 非バイオマス (燃料)低位発熱量	非バイオマス (燃料)発熱量
			%	k g / h	M J / h	M J / h
	非バイオマス由来	廃プラスチック類	ポリエチレン (PE)	0	0	0
ポリプロピレン (PP)			0	0	0	0
ポリスチレン (PS)			〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
発泡スチロール			0	0	0	0
FRP樹脂			0	0	0	0
フェノール樹脂			0	0	0	0
熱可塑性樹脂			0	0	0	0
混合樹脂製品			0	0	0	0
PETボトル			0	0	0	0
皮革類			0	0	0	0
くず		タイヤ	0	0	0	0
		合成ゴム	0	0	0	0
繊維くず		ナイロン布	0	0	0	0
		アクリル布	0	0	0	0
		ビニロン布	0	0	0	0
		ポリエステル布	0	0	0	0
その他		廃油 (石油系)	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
構成比の合計			〇〇	② 〇〇		

バイオマス依存率 =
$$\frac{\sum_{n=1, 2, 3 \dots} (A_n \times B_n)}{\sum_{n=1, 2, 3 \dots} (A_n \times B_n) + \sum_{m=1, 2, 3 \dots} (C_m \times D_m)} \times 100 = ① / (① + ②) \times 100$$

= 00 %

・バイオマス排水、家畜糞尿、食品残渣等を原料とする場合はバイオマス依存率を100%とする。

バイオマス依存率が60%未満の場合は、**【改善計画書(P13)】**の提出が必要です

1

実際に使用したバイオマス燃料の組成及び低位発熱量に基づいて記入してください。
数値が実績報告時に提出した資料と異なる場合は、別途変更になった理由書を提出してください。

提出書類【利用状況報告書】及び【使用する燃料のバイオマス依存率の計算根拠がわかる資料】と整合性をとってください。



バイオマス依存率計算書 (バイオマス燃料製造)

	種類		構成比	E. バイオマス (原料) 利用量	F. バイオマス (原料) 低位発熱量	バイオマス (原料) 発熱量
			%	kg/h	MJ/kg	MJ/h
バイオマス由来	紙くず	紙類	0	0	0	0
		新聞紙	0	0	0	0
		紙管	0	0	0	0
	木くず	草・木	00	00	00	00
		おがくず	0	0	0	0
		木片	0	0	0	0
		ベニア・合板・化粧板	0	0	0	0
	繊維くず	集成材・ボード	0	0	0	0
		木綿	0	0	0	0
	その他	羊毛	0	0	0	0
		一般雑芥	0	0	0	0
		廃油(動植物系)	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	
① 00						

	種類		構成比	G. 非バイオマス (原料) 利用量	H. 非バイオマス (原料) 低位発熱量	非バイオマス (原料) 発熱量
			%	kg/h	MJ/kg	MJ/h
非バイオマス由来	廃プラスチック類	ポリエチレン(PE)	0	0	0	0
		ポリプロピレン(PP)	0	0	0	0
		ポリスチレン(PS)	00	00	00	00
		発泡スチロール	0	0	0	0
		FRP樹脂	0	0	0	0
		フェノール樹脂	0	0	0	0
		熱可塑性樹脂	0	0	0	0
		混合樹脂製品	0	0	0	0
		PETボトル	0	0	0	0
	ゴムくず	皮革類	0	0	0	0
		タイヤ	0	0	0	0
	繊維くず	合成ゴム	0	0	0	0
ナイロン布		0	0	0	0	
アクリル布		0	0	0	0	
ビニロン布		0	0	0	0	
その他	ポリエステル布	0	0	0	0	
	廃油(石油系)	0	0	0	0	
その他	その他	0	0	0	0	
② 00						

構成比の合計 00

バイオマス依存率 = $\frac{\sum_{n=1, 2, 3 \dots} (E_n \times F_n)}{\sum_{n=1, 2, 3 \dots} (E_n \times F_n) + \sum_{m=1, 2, 3 \dots} (G_m \times H_m)} \times 100 = \frac{①}{(① + ②)} \times 100 = 00 \%$

・ バイオマス排水、家畜糞尿、食品残渣等を原料にする場合はバイオマス依存率を100%とする。
・ メタン発酵方式の場合は発酵槽へ投じられるものをバイオマス原料とする。

バイオマス依存率が60%未満の場合は、【改善計画書(P13)】の提出が必要です

1 実際に使用したバイオマス原料の組成及び低位発熱量に基づいて記入してください。
数値が実績報告時に提出した資料と異なる場合は、別途変更になった理由書を提出してください。

提出書類【利用状況報告書】及び【使用する原料のバイオマス依存率の計算根拠がわかる資料】と整合性をとってください。



利用状況報告を行う対象期間について、計測機器から出力される計測データを加工せずに提出してください。

- ✓ 提出する計測データはcsv (Excel) 形式、またはPDF形式であること
- ✓ バイオマス燃料製造以外の場合は、時間、温度、流量、熱量がわかること
- ✓ バイオマス燃料製造設備の場合は、時間、製造量、低位発熱量がわかること

※計測データがわかりにくい場合は、別途説明資料を提出してください。

※バイオマス燃料製造設備で【製造した燃料が要件を満たしていることがわかる資料(P12)】にて稼働状況が確認できる場合は、本資料の提出は必要ありません。

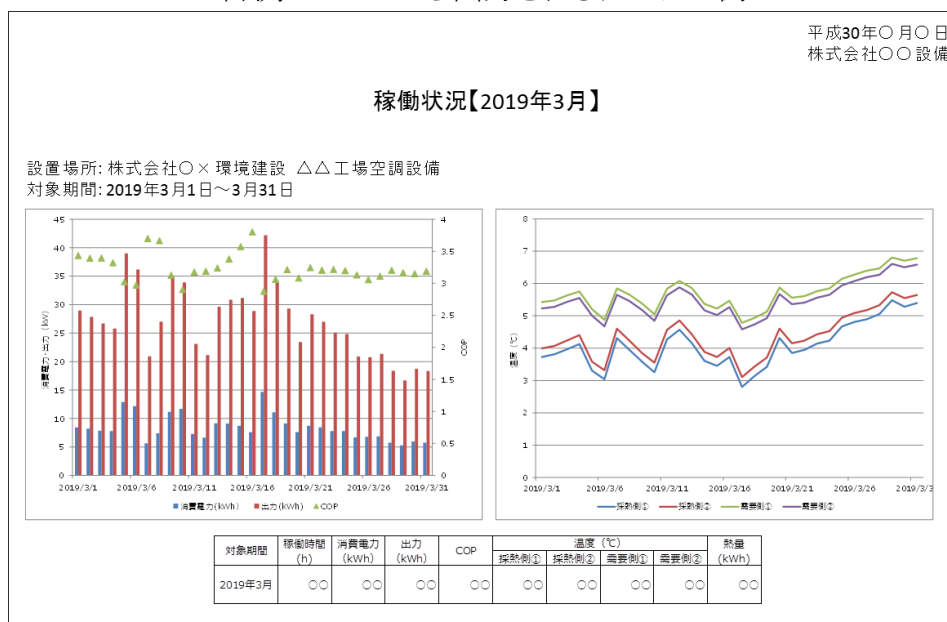
CSVデータの例

1年分の計測データ

[2018年4月]

番号 NO.	日時 Time	温度 degC	流量 l/min	熱量 kW
123456	2018/4/1 0:00	0.00	0.00	0.00
123457	2018/4/1 0:01	0.00	0.00	0.00
123458	2018/4/1 0:02	0.00	0.00	0.00
123459	2018/4/1 0:03	0.00	0.00	0.00
123460	2018/4/1 0:04	0.00	0.00	0.00
123461	2018/4/1 0:05	0.00	0.00	0.00
123462	2018/4/1 0:06	0.00	0.00	0.00
123463	2018/4/1 0:07	0.00	0.00	0.00
123464	2018/4/1 0:08	0.00	0.00	0.00
123465	2018/4/1 0:09	0.00	0.00	0.00
123466	2018/4/1 0:10	0.00	0.00	0.00
166646	2018/4/30 23:50	0.00	0.00	0.00
166647	2018/4/30 23:51	0.00	0.00	0.00
166648	2018/4/30 23:52	0.00	0.00	0.00
166649	2018/4/30 23:53	0.00	0.00	0.00
166650	2018/4/30 23:54	0.00	0.00	0.00
166651	2018/4/30 23:55	0.00	0.00	0.00
166652	2018/4/30 23:56	0.00	0.00	0.00
166653	2018/4/30 23:57	0.00	0.00	0.00
166654	2018/4/30 23:58	0.00	0.00	0.00
166655	2018/4/30 23:59	0.00	0.00	0.00

計測システムから出力されるデータの例



提出書類【利用状況報告書】と整合性をとってください。



使用するバイオマス燃料について、第三者機関による検査報告書、分析結果等を提出してください。

✓ 使用している燃料の種別、数量及び低位発熱量がわかること

※実際に使用した燃料の低位発熱量を客観的に証明できる資料を提出してください。

バイオガス燃料の検査報告書の例

検査報告書														
第789123号 平成30年〇月〇日														
株式会社〇×環境建設 股														
環境共創調査株式会社 代表取締役 環境 一郎 計量証明事業〇〇県登録第環境〇号														
貴依頼による検査を下記のとおり報告致します。														
1. 測定項目	メタン発酵設備ガス中の成分濃度													
2. 採取場所	廃液処理													
3. 気象条件	i) 採取日時 平成30年〇月〇日 ii) 気 候 晴 iii) 気 温 25℃													
4. 測定結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定項目</th> <th>濃度</th> <th>発熱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタン</td> <td>〇〇%</td> <td>〇〇MJ/Nm³</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素</td> <td>〇〇%</td> <td>〇〇MJ/Nm³</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>〇〇%</td> <td>〇〇MJ/Nm³</td> </tr> </tbody> </table>		測定項目	濃度	発熱量	メタン	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³	二酸化炭素	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³	合計	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³
測定項目	濃度	発熱量												
メタン	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³												
二酸化炭素	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³												
合計	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³												
5. 測定方法	〇〇〇〇〇													

木質バイオマス燃料の検査報告書の例

分析結果報告書																					
第890123号 平成30年〇月〇日																					
株式会社〇×環境建設 股																					
環境共創調査株式会社 代表取締役 環境 一郎 計量証明事業〇〇県登録第環境〇号																					
貴依頼による試料の分析を下記のとおり報告致します。																					
1. 試料名	パーク																				
2. 受付日	平成30年〇月〇日																				
3. 分析項目	水分、灰分、可燃分、低位発熱量																				
4. 試料採取者	株式会社〇×環境建設																				
5. 採取条件	(天候)ー (気温)ー (水温)ー																				
6. 分析結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分析項目</th> <th>分析結果</th> <th>単位</th> <th>分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水 分</td> <td>〇〇</td> <td>%</td> <td>JIS-.....</td> </tr> <tr> <td>灰 分</td> <td>〇〇</td> <td>%</td> <td>JIS-.....</td> </tr> <tr> <td>可 燃 分</td> <td>〇〇</td> <td>%</td> <td>JIS-.....</td> </tr> <tr> <td>低 位 発 熱 量</td> <td>〇〇</td> <td>MJ/kg</td> <td>JIS-.....</td> </tr> </tbody> </table>	分析項目	分析結果	単位	分析方法	水 分	〇〇	%	JIS-.....	灰 分	〇〇	%	JIS-.....	可 燃 分	〇〇	%	JIS-.....	低 位 発 熱 量	〇〇	MJ/kg	JIS-.....
分析項目	分析結果	単位	分析方法																		
水 分	〇〇	%	JIS-.....																		
灰 分	〇〇	%	JIS-.....																		
可 燃 分	〇〇	%	JIS-.....																		
低 位 発 熱 量	〇〇	MJ/kg	JIS-.....																		

提出書類【利用状況報告書】及び【バイオマス依存率計算書】と整合性をとってください。

製造した燃料が要件を満たしていることがわかる下記2つの資料を提出してください。

①1日ごとの製造量がわかる資料(稼働実績ログ、操業日誌 等)

✓ 提出する計測データはcsv (Excel) 形式、またはPDF形式で、データ加工されていないこと

※計測データがわかりにくい場合は、別途説明資料を提出してください。

②製造した燃料の低位発熱量を客観的に証明できる資料(第三者機関による検査報告書、分析結果等)

製造設備の稼働実績ログの例

[2019年3月]					
番号 NO.	日時 Time	...	...	原料供給量 l/min	製造量 Nm ³
243456	2019/3/1 0:00			0.00	0.00
243457	2019/3/1 0:01			0.00	0.00
243458	2019/3/1 0:02			0.00	0.00
243459	2019/3/1 0:03			0.00	0.00
243460	2019/3/1 0:04			0.00	0.00
243461	2019/3/1 0:05			0.00	0.00
243462	2019/3/1 0:06			0.00	0.00
243463	2019/3/1 0:07			0.00	0.00
243464	2019/3/1 0:08			0.00	0.00
243465	2019/3/1 0:09			0.00	0.00
243466	2019/3/1 0:10			0.00	0.00
...					
193312350	19/3/31 23:50			0.00	0.00
193312351	19/3/31 23:51			0.00	0.00
193312352	19/3/31 23:52			0.00	0.00
193312353	19/3/31 23:53			0.00	0.00
193312354	19/3/31 23:54			0.00	0.00
193312355	19/3/31 23:55			0.00	0.00
193312356	19/3/31 23:56			0.00	0.00
193312357	19/3/31 23:57			0.00	0.00
193312358	19/3/31 23:58			0.00	0.00
193312359	19/3/31 23:59			0.00	0.00

バイオガスの検査報告書の例

検査報告書

第789123号
平成30年〇月〇日

株式会社〇×環境建設 殿

環境共創調査株式会社
代表取締役 環境 一 郎
計量証明事業〇〇県登録第環境〇号

貴依頼による検査を下記のとおり報告致します。

1. 測定項目 メタン発酵設備ガス中の成分濃度

2. 採取場所 廃液処理

3. 気象条件 i) 採取日時 平成30年〇月〇日
 ii) 気 候 晴
 iii) 気 温 25℃

4. 測定結果

測定項目	濃度	発熱量
メタン	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³
二酸化炭素	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³
合計	〇〇%	〇〇MJ/Nm ³

5. 測定方法 〇〇〇〇〇

木質バイオマスの検査報告書の例

分析結果報告書

第890123号
平成30年〇月〇日

株式会社〇×環境建設 殿

環境共創調査株式会社
代表取締役 環境 一 郎
計量証明事業〇〇県登録第環境〇号

貴依頼による試料の分析を下記のとおり報告致します。

1. 試料名 バーク

2. 受付日 平成30年〇月〇日

3. 分析項目 水分、灰分、可燃分、低位発熱量

4. 試料採取者 株式会社〇×環境建設

5. 採取条件 [天候]ー [気温]ー [水温]ー

6. 分析結果

分析項目	分析結果	単位	分析方法
水 分	〇〇	%	JIS-...
灰 分	〇〇	%	JIS-...
可 燃 分	〇〇	%	JIS-...
低 位 発 熱 量	〇〇	MJ/kg	JIS-...

提出書類【利用状況報告書】、【バイオマス依存率計算書】及び
【設備の稼働状況等に関する計測データ】と整合性をとってください。



1 ○○番 ○○号
2 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 赤池 学 殿

住所 東京都中央区銀座XX-XX-XX
補助事業者 名称 株式会社環境共創システム
代表者等名 代表取締役 環境 清

平成28年度 再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金
改善計画書

ページ割(改ページの位置)は変更しないでください。

4 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 付け SII-○○○○○-NE-○○○○○-K にて交付決定のあった下記申請について
改善計画を報告します。

記

- 補助事業の名称
5 ○○○○○○○○○○
- 状況
6 ※記入例参照
- 原因と経緯
7 ※記入例参照
- 改善を行う方法
8 ※記入例参照
- 改善実施スケジュール
・スケジュール詳細
9 ※記入例参照
・改善状況の進捗報告時期(進捗報告は少なくとも6ヶ月に1度以上は行ってください)
10 ※記入例参照

1	補助事業者で独自の番号があれば記入してください。 不要の場合には、番号の部分を消してください。
2	申請日を元号から記入してください。
3	補助事業者の情報を記入し、代表者印を押捺してください。
4	交付決定年月日及び交付決定番号を記入してください。
5	補助事業の名称を記入してください。
6	補助対象設備の状況について記入してください。 (例)計画値の熱供給量〇〇GJ/年に対して、実績値は〇〇GJ/年となり、対計画比は〇〇%となった。
7	改善計画書を提出するに至った原因と結果について、経緯がわかるように記入してください。 (例1)〇年〇月に計測装置が故障していることが発覚し、〇月～〇月の間の計測データが取得できていないことが判明。原因を調査した結果、定期点検時に一時機器を停止させた後、再起動をしていなかった。 〇年〇月に2回目の定期点検を行った際に、計測器の未稼働状態が確認され、その場で再起動をした。 なお、熱供給設備自体には不具合はなく、光熱費等の結果から順調に稼働していることが推測される。 (例2)工場の稼働を伴う契約の受注が昨年度よりも大幅に落ち込んだため、工場での熱需要が当初よりも小さく、熱供給設備の稼働も低調となった。 (例3)〇年〇月に冷房が効かなくなり、原因を調査した結果、ポンプの不具合及び配管の破損が認められたため、ただちに設備の稼働を停止した。〇月～〇月にかけてポンプ及び配管の交換工事を行ったが、その間は設備の稼働を停止させ、〇月より通常の稼働を再開した。 (例4)〇年〇月に稼働を開始したが、年間の温度変動が想定よりも大きく、夏季において計画時よりも水温が高く、最大負荷運転時において採熱後の排水温度が高くなり、そのままでは水路に放流できなくなってしまった。そのため、出力を絞らざるを得なくなり、供給熱量も大きく減少した。
8	運用の改善するための方法について具体的に記入してください。 (例1)計測機器の不具合については〇年〇月に再起動をし、動作を確認済み。 今後は定期点検だけではなく、週1回計測データのモニタリングを実施することにより、計測機器の不具合の早期発見に努める。 (例2)工場の生産体制を見直すことにより、〇年〇月より当該工場の稼働率をあげ、熱需要を増やす予定。 なお、来期の契約受注数も今期より増加する見込みのため、想定では対計画比〇%の熱供給量となる。 (例3)〇年〇月に破損個所の交換を終え、試運転を経て〇月に通常運用を開始した。その後定期的に検査をしているが、設備は順調に稼働している。ポンプ及び配管の破損の原因については調査中。 (例4)採熱後の排水をそのまま放流するのではなく、貯水槽に溜めて一度水温を下げた上で水路に放流するシステムに改修する。改修範囲、仕様等を事前にSIIに確認し、〇年〇月に着手予定。
9	上記 8 の改善の内容を実施するスケジュールを記入してください。なおスケジュールの各段階において、設備の概ねの稼働率等を記載してください。 (例1)〇年〇月 計測機器を再稼働済み。問題なく計測できていることを確認(対計画比〇〇%) (例2)〇年〇月 生産の一部を当該工場に振り分け、熱供給量〇〇GJ/月が増加する見込み 〇年〇月 新規受注分の生産を開始予定で、熱供給量〇〇GJ/月が増加する見込み (例3)〇年〇月 設備を停止(設備稼働率0%) 〇年〇月 改修作業開始 〇年〇月 改修作業完了、試運転開始(設備稼働率30%) 〇年〇月 通常運用を再開(設備稼働率100%) (例4)〇年〇月 問題が発覚したため、低負荷での運転を開始。熱供給量は対計画比20%程度。 〇年〇月 施工会社を交えて協議を行った。熱供給量は対計画比25%程度。 〇年〇月 SIIに状況を報告。 〇年〇月 工事着手予定。設備は一度停止する。 〇年〇月 工事完了予定。調整運転を含め、熱供給量は対計画比70%程度を想定。 〇年〇月 対計画比100%にて運転予定。
10	上記 9 の改善状況の進捗報告をする時期を記入してください。※進捗報告は6ヶ月に1度以上行ってください。 (例)〇年〇月 設備の調整完了後1か月のタイミングで第一回の進捗報告を行い、以後3ヶ月おきに報告する。

提出書類【利用状況報告書】及び【設備の稼働状況等に関する計測データ】と整合性をとってください。

1－2.利用状況報告の作成 (発電設備)

補助事業者は、補助事業の適正な管理のため、取得財産等(補助事業により設置した再生可能エネルギー利用設備)の利用状況等の報告を行っていただきます(書式は、ホームページ上からダウンロードできます)。

利用状況報告のデータの収集期間は、補助事業実施年度の次年度から48カ月間(4年間)とし、前年度の4月～3月の実績を、次年度の4月末までにSIIに報告をしてください。

例)平成28年度(平成28年4月～平成29年3月)に補助事業を完了している場合

【第一回報告】平成30年4月末(平成29年4月～平成30年3月分)

【第二回報告】平成31年4月末(平成30年4月～平成31年3月分)

【第三回報告】平成32年4月末(平成31年4月～平成32年3月分)

【第四回報告】平成33年4月末(平成32年4月～平成33年3月分)

※ただし、個別の状況により変更する場合があります。



太陽光発電



風力発電



バイオマス発電



水力発電



地熱発電

1	補助事業の情報を記入してください。 ※担当者の氏名、所属部署、電話番号について、2年目以降の報告から変更がある場合は、変更後の内容を記入してください。
2	補助事業の実績報告時の 実績報告書【No. 1 4 補助事業の効果】 に記載した数値を記入してください。
3	再エネ設備で発電した電力量を記入してください。
4	電力会社から購入した電力量を記入してください。
5	既設の再エネ設備の発電電力量を記入してください。※FIT分を除いた発電電力量を記入してください。
6	再エネ設備で発電した電力のうち、余剰電力として売電した電力量を記入してください。
7	バイオマス発電の場合のみ記入してください。 バイオマス依存率の実績値を記入してください。 バイオマス燃料に非バイオマス燃料が含まれる場合は、別途【バイオマス依存率計算書】を作成・添付いただくと共に、その数値を記入してください。
8	運転状況について具体的に記入してください。 蓄電池を導入している場合は、蓄電池の利用状況についても記入してください。 計画値と実績値の乖離が大きいときは、その理由も記入してください。

報告対象となる当該年度の部分に記入をしてください。

実績値は事実に基づいた正確な値を記入してください。

1	実際に使用したバイオマス燃料の組成及び低位発熱量に基づいて記入してください。
---	--

1－3.利用状況報告の提出

利用状況報告の提出期限

第一回報告	平成30年4月30日(月)	17:00	必着
第二回報告	平成31年4月30日(火)	17:00	必着
第三回報告	平成32年4月30日(木)	17:00	必着
第四回報告	平成33年4月30日(金)	17:00	必着

※ただし個別の状況により変更する場合があります。

書類の提出方法

下記メールアドレス宛てに、ファイルを添付してメール送信してください
ne_report@sii.or.jp

※利用状況報告書はExcelファイルのまま提出してください。

※利用状況報告書以外のファイルについては、適切なフォーマットにて提出してください。

※利用状況報告に併せて提出する資料は、同じメールに添付して送付してください。

メール送信にあたっての注意点

メールの件名及び利用状況報告の添付ファイル名は、下記ルールに従ってください。

- ・メールの件名
→【再エネ補助金】利用状況報告(利用状況報告の対象年度分)_(交付決定番号)」
- ・利用状況報告の添付ファイル名
→利用状況報告(利用状況報告の対象年度分)_(交付決定番号).xls

例) 交付決定番号がSII280101-NE-00000-Kにて補助金を受けた事業者が、
平成29年度(平成29年4月～平成30年3月分)の利用状況報告を提出する場合

メールの件名:【再エネ補助金】利用状況報告(平成29年度分)_SII280101-NE-00000-K
 添付ファイル名:利用状況報告(平成29年度分)_SII280101-NE-00000-K.xls

※複数年度にわたって事業を行っている場合は、一番最新の交付決定番号を使用してください。

一般社団法人環境共創イニシアチブ
 再生可能エネルギー熱事業者支援事業
 ご担当者様
 お世話になっております。
 株式会社環境共創システム 申請担当の江根です。

2.普及啓発事業の報告の作成

以下のいずれかに該当する補助事業者のうち、本補助金の交付申請時に計画を提出し、実績報告時に未実施の普及啓発事業があった補助事業者は、利用状況報告の提出と併せて普及啓発事業の報告書を提出してください。

- ①旧申請補助事業区分が「地域再生可能エネルギー熱導入促進対策事業」の補助事業者
- ②旧申請補助事業区分が「地域再生可能エネルギー発電システム等導入促進対策事業」の補助事業者
- ③補助率3分の2で申請している補助事業者



提出対象となる補助事業者のみ提出してください。

普及啓発事業の報告

<平成29年度>

1. 普及啓発事業の実施状況

本報告年度内に実施した普及啓発活動の内容を記載してください。

また、実施した内容がわかるもの（作成物や写真等）を別途添付してください。

1 ※記載例を参照

2. 今後の取り組み

交付申請時に記載した計画の内、現時点で未実施の取り組みがあれば記入してください。

2 ※記載例を参照

実施した内容が分かるもの（作成物や写真等）を別途添付してください（次ページ参照）。
実績報告後に普及啓発活動を実施する場合は、実施計画書を添付してください。

1	交付申請書に記載した計画のうち、実績報告書提出までに実施した内容について、「何を」「いつ」「どのように」実施したか、また、その結果・成果等を記入してください。 交付申請時には計画していなかったものでも、実施したものがあれば、同様に記入してください。 ※実績報告後に普及啓発活動を実施する場合は、「普及啓発事業は未実施」と記入してください。 （記入例） - 平成28年〇月、設備の完成、稼働開始後に〇〇市の広報誌に、別添1のとおり設備概要及び写真を掲載した。 - 平成29年〇月～〇月にかけて設備見学会を3回実施し、参加者は合計で〇〇人だった。見学会の詳細レポート、写真については別添2の通り。 - 平成29年〇月、県主催の環境シンポジウムの分科会にて担当者が本事業について説明した。その際の資料、レポートについては別添3の通り。
2	交付申請時に記載した計画のうち、現時点で未実施の取り組みがあれば記入してください。 また、今後新たに実施する取り組みがあれば記入してください。 （記入例） - 平成30年〇月、〇〇環境展にて本事業の内容を紹介するブースを出展予定。 - 平成30年〇月、地元の小中学生を対象としたエネルギー関連の勉強会を、現地施設の紹介もあわせて実施予定。

【県報】

[illegible][illegible]

【見学会①】

平成〇〇年〇月〇日

〇〇〇〇御中

株式会社〇〇〇〇
広報部

△△工場 再生可能エネルギー熱利用設備
見学会開催のお知らせ

拝啓 *****

さて、*****

つきましては、下記の通り△△工場 再生可能エネルギー熱利
用設備の見学会を行いますので、ぜひご来場ください。

記

1. 日時
平成〇〇年〇月〇日 午後〇時より午後〇時まで

2. 場所
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇〇丁目〇番〇号 △△工場

3. 問い合わせ
TEL: 000-000-0000
広報部 〇〇〇

【見学会②】

再生可能エネルギー
熱利用システム施設見学会

再生可能エネルギー

問合せ先

3.各種変更に係る手続き

事業の体制、設備の状況等について、実績報告時から変更がある場合はSIIに連絡をし、その指示に従ってください。なお、下記に該当する変更については所定の届け出またはSIIへの承認申請が必要ですので、事前に必ずSIIに確認を行ってください。

- ・補助金によって取得した設備に対して担保権を設定しようとする場合（計画変更承認申請書）
- ・代表者、商号、本社所在地のいずれかが変更になる場合（計画変更届）
- ・補助金によって取得した設備のうち、処分制限財産を転用、譲渡、交換、貸付け、担保に供する処分、取壊し、廃棄しようとする場合（財産処分承認申請）
- ・担当者連絡先の変更（軽微な変更の報告書）
- ・設備を設置した施設名称の変更（軽微な変更の報告書）
- ・地番の確定に伴う設備設置場所の住所変更（軽微な変更の報告書）

1	補助事業者で独自の番号があれば記入してください。 不要の場合には、番号の部分を消してください。
2	申請日を元号から記入してください。
3	補助事業者の情報を記入し、代表者印を押捺してください。
4	補助事業者の名称を記入してください。
5	変更の内容を簡潔明瞭に記入してください。 (例) 補助対象設備に担保権を設定する。
6	変更が必要な理由を簡潔明瞭に記入してください。 (例) 本業において新規事業のための融資を受ける際に、新たに担保設定が必要になったため
7	変更が補助事業に及ぼす影響を、簡潔明瞭に記入してください。 (例) 地中熱利用設備に担保権が設定される予定だが、年間総発熱量に変更は無く、補助事業に及ぼす影響はない。

担保権を設定することに対して、その理由に応じた添付書類を提出いただく
ことがあります。計画変更承認申請を行う前に、必ずSIIまでご連絡ください。

1	補助事業者で独自の番号があれば記入してください。 不要の場合には、番号の部分を消してください。
2	申請日を記入してください。
3	【交付決定通知書】に記載されている「補助事業者住所」「補助事業者名」「代表者名」を記入の上、代表者印を押捺してください。 ※変更後の情報を記入してください。また、新しく印鑑届出をしている場合は、変更後の代表者印を押捺してください。
4	【交付決定通知書】に記載されている「交付決定日」と「交付決定番号」を、文章の該当箇所に入力してください。 ※交付決定日及び交付決定番号以外の文章は変更しないでください。
5	【交付申請書】に記載された「補助事業の名称」を、そのまま記入してください。
6	変更後の内容を記入してください。 (例1) 新代表者 : 代表取締役 環境清 (例2) 新商号 : 株式会社環境共創ホールディングス (例3) 新住所 : 東京都中央区築地ヶ丘1-××-39 築地ビル31階
7	変更前の内容を記入してください。 (例1) 旧代表者 : 代表取締役 環境太郎 (例2) 旧商号 : 株式会社環境共創システム (例3) 旧住所 : 東京都中央区銀座10-××-2 銀座ビル10階

登記簿(履歴事項全部証明書)も、あわせてご提出ください。

財産処分の承認申請 (財産処分承認申請書)

1	補助事業者で独自の番号があれば記入してください。 不要の場合には、番号の部分を消してください。
2	申請日を記入してください。
3	【交付決定通知書】に記載されている「補助事業者住所」「補助事業者名」「代表者名」を記入の上、代表者印を押捺してください。 ※計画変更等で内容が変更されている場合は、変更後の内容を記入してください。
4	【交付決定通知書】に記載されている「交付決定日」と「交付決定番号」を、文章の該当箇所に入力してください。 ※交付決定日及び交付決定番号以外の文章は変更しないでください。
5	処分の相手方の本社所在地を記入してください。 ※処分しようとする財産の売却、譲渡、交換、貸与、担保提供の相手方がある場合のみ記入してください。
6	処分の相手方の事業者名を記入してください。 ※処分しようとする財産の売却、譲渡、交換、貸与、担保提供の相手方がある場合のみ記入してください。
7	処分の相手方が設備を使用する場所を記入してください。 ※処分しようとする財産の売却、譲渡、交換、貸与、担保提供の相手方がある場合のみ記入してください。
8	処分の相手方の設備の使用目的を記入してください。 ※処分しようとする財産の売却、譲渡、交換、貸与、担保提供の相手方がある場合のみ記入してください。
9	財産を処分する場合において条件がある場合は、その条件について記入してください。 ※処分しようとする財産の売却、譲渡、交換、貸与、担保提供の相手方がある場合のみ記入してください。
10	処分しようとする財産の名称・仕様・数量・処分の方法・処分の理由を記入してください。 (記入例) 財産の名称…太陽熱利用設備 仕様 …○○GJ／年（太陽熱利用） ○○kW 又は ○○GJ／年（温度差エネルギー） ○○GJ／年（雪氷熱利用） ○○kW 又は ○○GJ／年（地中熱利用） ○○kW（バイオマス熱利用） ○○Nm ³ ／年 又は ○○t／年（バイオマス燃料製造） 数量 …1式 処分の方法…廃棄 処分の理由…設置施設の老朽化のため、太陽熱利用設備を含めて取り壊すこととなったため

財産処分承認申請とあわせて、処分の理由に応じた添付書類を提出いただくことがあります。財産処分承認申請を行う前に、必ずSIIまでご連絡ください。

平成28年度再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金
軽微な変更の報告について

上記補助金に係る補助事業について、以下の申請について軽微な変更がありましたので、ご報告いたします。

交付決定番号	2 II280101-NE-00000-K
補助事業者名	3 株式会社環境共創システム
(機器使用者)	4

(1) 担当者連絡先の変更

	(旧)	(新)
担当者連絡先 1	郵便番号	100-0001
	都道府県	東京都
	市区町村	千代田区千代田
	丁目・番地	〇〇-〇〇
	建物名・部屋番号	
	担当者氏・名 (フリガナ)	カンキョウ キヨシ
	担当者氏・名	5 環境 清 6 環境 良雄
	事業者名 (フリガナ)	
	事業者名	
	所属部署名 (フリガナ)	カンキョウジギョウブ
	所属部署名	環境事業部
	メールアドレス	kiyoshi@xxx.co.jp
電話番号		
FAX番号		
担当者連絡先 2	郵便番号	
	都道府県	
	市区町村	
	丁目・番地	
	建物名・部屋番号	
	担当者氏・名 (フリガナ)	
	担当者氏・名	
	事業者名 (フリガナ)	5
	事業者名	6
	所属部署名 (フリガナ)	
	所属部署名	
	メールアドレス	
電話番号		
FAX番号		

(2) 施設名称の変更及び地番確定に伴う設置場所住所の変更

	(旧)	(新)
施設名称		
郵便番号		
都道府県	5	6
市区町村		
丁目・番地		

(3) その他の変更 (計画変更届出書の提出に該当しないものに限る。)

(旧)	(新)
5	6

※ (1) ~ (3) いずれも、変更があった箇所のみ記入してください。

1	提出日を記入してください。
2	交付決定番号を記入してください。
3	補助事業者名を記入してください。
4	共同申請の場合のみ、機器の使用者名を記入してください。
5	変更前の情報を記入してください。 ※変更がある項目のみ記入してください。
6	変更後の情報を記入してください。 ※ 5 と対応する項目に記入してください。

本書式はExcel書式のまま、メールで提出してください。(ne_report@sii.or.jp宛て)
また、メール送付の際は、メールの件名に【軽微な変更報告】とつけてください。
(郵送の必要はありません)

平成31年2月

お問い合わせ先

**一般社団法人 環境共創イニシアチブ 審査第三グループ
再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金 担当**

■補助金申請に関するお問い合わせ

電話受付時間：平日の10：00～12：00、13：00～17：00 ※通話料がかかりますので、ご注意ください。

0 3 - 5 5 6 5 - 3 8 5 0

■ホームページ

http://sii.or.jp/re_energy28/report.html